

## 緑の募金で森林を元気に 「春の緑の街頭募金」

(詳細は、2頁)



緑の募金にご協力を



募金ありがとうございます





くろしお君も募金活動

「緑の募金でふせごう地 球温暖化」をスローガン に、公益社団法人高知県 森と緑の会主催による「春



の緑の街 頭募金」 が、四月 一五日、 高知市中 央公園及 び帯屋町 商店街で 行われま した。 出発式 で、新木 局長 か ら「緑の 募金活動 は、一人

ひとりの志を集め森を育み、地球環境に貢献するばかりでなく、森林・林業の重要性に対する理解や関心を深める意義深い活動」との激励の挨拶のあと、ボランティアスタッフらが、「緑の募金に協力をお願いします」と大きな声で道行く人々に協力を呼びかけていました。 当日は、春らしい暖かな日と、中央公園で行われている緑の週間行事と相まって、帯屋町商店街は普段以上の人通りで、子どもからお年寄りまで、多くの方から善意が寄せられました。 春の募金活動は、五月三十一日まで行われており、皆様からいただいた募金は水資源の森づくりや緑



新木局長（左側）と梶原町長（右側）

三月一六日、梶原町長 間で「四万十川源流にお と四国森林管理局長との ける森林整備に関する協



の少年団の育成、国際緑 化事業などに活用される ことになります。

定」を締結 しました。 この協定 は、四万十 川へ良質で 豊かな水 を供給する ため、平成 一四年に締 結された協 定を引き 継ぐもので す。

分収造林制度の活用による芹川地区国有林における整備事業の更なる推進を図るとともに、これと相まつて国有林の事業を行い、将来にわたつて住民の期待に沿った森林づくりを進めることを目的としています。

協定締結に当たって、新  
木局長からは、「森林管理  
局としても四万十川へ良  
質で水量豊かな水を供給  
するという観点から重要  
な協定であると考えてお

り、今後、取り組む整備事業と相まつて国有林の施業を行い、将来にわたつて住民の期待に沿つた森林整備が進められることを期待します」との挨拶がありました。

引き続き梶原町長から、

「芹川地区の森は梶原町の水源の森として欠かせない森であるとともに、この森から生まれる一滴の水が四十万十川の百九十六キロの流れにのって太平洋の鯨も育むなど、国有林と連携した活動は大変意義深いものだと考えており、我々も一生懸命森づくりをして参る考えでございますので、引き続き、ご指導ご協力をお願いします」との挨拶がありました。



宣誓書を読み上げる芦原さん

四月二日、平成二四年  
度新規採用者三名の入庁  
式が行われました。

新木局長より辞令が手

渡され、入庁者を代表して、芦原さん（経理課）が宣誓を行いました。

その後、局長から、訓

場づくりの心がけ、職場を取り巻く関係者の皆様方に「感謝」の念を忘れず、また、私たちは、「山」の仕事をしており、「山の恵み」を利用させていただいているということで、山や自然にも感謝する。

示があり「塞翁が馬」といわれる  
林野庁職員として  
スタートを切る日に当たり、  
「笑顔」「感謝」「前向き」という言葉が贈られました。  
『常に「笑顔」で明るい職  
て、現在、そして将来に







入庁式（新木局長を囲んで）

向け、「前向き」に取り組め、名実ともに「国民の  
んで頂きたいと思います。ための森林」としていこ  
今日から皆さんは、職うという方向であります。  
場の仲間です。国有林に国民に喜んでもらえるよ  
ついては、これまで「国う、一緒にがんばってい  
民の森林」と言ってきたまきましよう。』との訓示が  
したが、さらにそれを進ありました。

## 新任紹介

香川森林管理事務所長

真鍋 宏二

○昭和五三年四月

高知営林局採用

○平成二一年四月

四国森林管理局総務部

専門官（契約適正化）

○平成二四年四月

現職

愛媛森林管理署長

阿久津 聡

○昭和五七年四月

林野庁採用

○平成二二年四月

中部森林管理局富山森

林管理署長

○平成二四年四月

現職

四万十森林管理署長

河岡 裕

○昭和四七年四月

高知営林局採用

○平成二一年八月

関東森林管理局天竜森

林管理署長

○平成二四年四月

現職

嶺北森林管理署長

松本 一喜

○昭和四八年四月

高知営林局採用

○平成二二年四月

四国森林管理局総務部

総務課長

○平成二四年四月

現職